

通番	内 容
01	1クリックで、音声認識の開始及び終了が操作できること。
02	OSが認識している音声入力デバイスの中から、アプリ上で1デバイスを任意に選択できること。
03	間投詞等の不要語を認識し、意味のある単語と区別できること。
04	自動的に句読点を付与し文字化できること。
05	字幕をモニター上に表示する最大の時間を、秒単位で任意に設定できること。
06	音声が入力となるなどにより、新たな字幕が生成されない状態が設定時間を経過した場合は、自動的に字幕を非表示にできること。
07	通番06で非表示後に、新たに音声が入力となるなどにより、新たな字幕が生成できる場合は、字幕を表示できること。
08	字幕として表示される発話区間の数を変更することができること。
09	アプリで音声認識を開始した時点から終了まで、文字化と同時に音声データが端末上に保存できること。
10	アプリ終了後に文字化したテキストデータ及び音声データ（mp3又はwav形式）を、発注者が任意に出力できること。
11	システムにより認識した発話単位で、文字化した内容及び音声データ上の録音時間が確認できること。
12	通番11の文字化情報（テキスト）を、任意に指定しコピーできること。
13	フィラー（発言内容の構成に寄与しない音声）を適宜抽出し除去できること。
14	アプリ上で、フィラー表示のON、OFFを切替できること。
15	アプリ上で、終話検知するまでの時間をミリ秒単位で任意に設定できること。
16	音声認識の中間処理結果(逐次認識結果)を字幕表示に反映する機能を有していること。
17	アプリ上で、逐次認識する機能のON、OFFを切り替えできること。
18	音声認識結果を辞書ファイルで置換する機能を有していること。
19	文字置換えのための辞書ファイルには、専門用語及び固有名詞等を登録・修正・削除できること。
20	登録済辞書ファイルを、csv又はtxt形式のファイルでエクスポートできること。
21	csv又はtxt形式のファイルを、辞書ファイルにインポートして登録できること。